

事業概要【「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか4自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	371,750千円（50,387千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	○本県の多様な風土により育まれた豊かな自然や文化など、地域の特色を生かし、地域全体をつなぐことで、付加価値の創造と地域内消費連鎖によって稼ぐ力を向上させ、「ふくしまの宝」による地域経済の活性化を目指す。 ○本県食料品関連産業を魅力的な産業として発展させていくことで、「もの」の生産力強化が地域の「しごと」を生み出し、新たな「ひと」を呼び込む。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業 ・地域産業6次化を核としたビジネスモデルの構築（委託費）33,446千円 ○ICT活用園芸産地革新モデル確立事業 ・実証ほにおける生育・環境、栽培管理データの収集・解析、現地支援（補助金）3,048千円 ○ふくしまの有機農業ひとづくり強化支援事業 ・有機農業の就農者確保のための支援（委託料）5,500千円 ○次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業 ・飼養管理技術や経営管理の能力向上を目的とした研修会開催を支援（補助金）1,116千円	 6次化の支援により開発された新商品  6次化交流会の様子	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①加工や直売等の年間販売金額（+64.5億） ②ICT+ミスト冷房の導入農家数（+78戸） ③県認証機関での有機JAS認証新規面積（+20ha） ④経産牛飼養頭数75頭以上の経営体数（+11経営体）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html https://www.fukushima-message.com 須賀川市： https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 西会津町：調整中 （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 須賀川市： https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 西会津町：調整中

※福島県、会津若松市、須賀川市、西会津町、石川町の広域連携事業

事業概要【ビジネスから人の流れにつなげるふくしま共創プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか 2 自治体※		初回採択回	令和 3 年度第 2 回募集
事業計画期間	R3-R7年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	163,470千円（14,038千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	新型コロナウイルスの感染拡大を契機にニューノーマルと呼ばれる新しい生活様式や働き方を踏まえた人々の意識や行動が変容しつつある中、会津大学の立地や先端技術を活用したまちづくりを進める本県の特徴を生かし、首都圏からの人や企業の流れを創出するとともに、そうした人材が地域との関係性を深める仕組みを構築することで関係人口の増加ひいては移住や定住・二地域居住に結び付けていく。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	○地域課題解決型先端サービス実装化支援 ・ヘルスケア分野の遠隔診療プロジェクトについて、市内に立地する 3 つすべての総合病院でのシステムを導入するとともに、市内や南会津地方からの救急搬送 中における広域連携での遠隔診療を実現（補助金） 7,500千円 ○スマートシティサポーターを核としたサービス普及業務 ・スマートシティサポーター等の市民、地域業界団体及びサービス提供企業が連携したサービス立案及び評価ワークショップを実施（委託料） 5,488千円 ・地域幸福度指標活用研修（委託料） 1,050千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	①本事業によって創出された関係人口 （+ 2,800人） ②本事業によって創出された関係企業 （+ 153社） ③新たに生まれた地域プロジェクトの件数 （+ 32件） ④移住やビジネス交流等に関する相談件数 （+ 320件）		（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 会津若松市：https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/ 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html （効果検証） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 会津若松市：調整中 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html	

※福島県、会津若松市、白河市の広域連携事業

事業概要【デジタルを核とした新たな県産品販路拡大プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	275,805千円（40,480千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	変化する消費者の志向に対応し、消費者に選ばれる強い商品力を持った商品開発を支援することで、プロダクトアウトからマーケットインへのビジネスモデルの転換を図る。 また、デジタルチャネルを活用しつつ、しっかりとした顧客目線のコンテンツによるマーケティングを行うことで、狙った消費者へ確実に訴求し、県産品の販路拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○県産品デジタルプロモーション発信事業 ・Webサイトを活用したプロモーション 17,348千円 ・SNSを活用したプロモーション 15,652千円 ・オンラインコミュニティを活用したプロモーション 7,480千円		 オンラインコミュニティを活用したイベントの様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタルマーケティング事業に係るWEBサイトユーザー数（サイトへ訪問した人数から重複を除いた人数）（+498,000数） ②WEBサイトの直帰率（最初のページだけを見て離脱してしまったセッションの割合）（▲20%） ③ふくしまの酒まつりへの参加者数（+3,500人） ④開発商品及び受賞商品の売上額の拡大（事業実施の翌年度計測）（+50%）		関連 URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html

事業概要【農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト】旧制度（推進）

申請者	福島県ほか6自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,025,313千円(215,118千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・農業未経験者の若者が、福島県の農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根ざしながら安心して農業を行える環境の整備を図る。 ・県外からの新規就農者が定着、継続的な受入、そして定着が根付くことで、県外から新規就農した先輩がサポートしてくれる安心感から、人が人を呼び込む好循環ができていき、多くの産地が活性化することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	○住む(移住)×仕事(就農)による新規就農者確保と担い手育成 ・新規就農者支援拠点の構築(補助金)54,006千円 ・情報発信、各種イベントの開催等(委託料)81,632千円 ○浜通り発 労働力こらんしょモデルの構築及び普及 ・農家の農作業指導の支援、首都圏学生等を対象とした農作業体験を通じた地域交流(委託料)31,000千円 ○農業等PR専用サイト、SNS等活用による記事広告掲載(委託料)495千円 ○新規就農希望者に対し各種PR、就農体験、就農に向けた相談対応(指導報償費)112千円、(パンフレット作製費用)137千円 ○就農イベント参加、農業情報総合サイト記事掲載(需用費、役務費等)690千円 ○ワンストップ型就農支援体制モデル委託事業(委託料)1,947千円 ○アグリテック技術の導入及び実証普及に係る経費補助(補助金)3,000千円  		
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	①新規就農者数(+1,655人) ②県外からの新規就農者数 (+305人) ③雇用就農者数(+827人) ④浜通り地域等の生産現場での作 業受託件数(+28件)	関連 URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市: https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 二本松市: https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shigoto_sangyo/nougou/sesaku/page010542.html 郡山市:調整中 柳津町:令和7年度3月公表予定 (効果検証) 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市: https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 二本松市: https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyousei/gyousei_hyoka/page000103.html 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 柳津町: https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2021060100019/

※福島県、福島市、白河市、須賀川市、二本松市、郡山市、柳津町の広域連携事業

事業概要【中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県、塙町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	509,314千円（95,574千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・地域外の人材の協力による自然環境と共生した農村の創出、維持を図る。 ・生産から販売までを通じた地域農業経済モデルの創出による農業の稼ぐ力の向上、担い手の参入と定着を図る。 ・自然環境と共生した農村の創出・維持と、農業の稼ぐ力の向上による担い手の参入と定着の好循環が、条件に不利のない都市的農業地域や平坦地域にも波及し、地域全体の活性化へ寄与。		
事業概要・ 主な経費	○関係人口の創出等による中山間地域等の維持・活性化 ・農村地域と地域外人材のマッチング支援（使用料及び賃借料、委託料）8,000千円 ・維持管理負担継続による営農作業の効率化（委託料）7,900千円、（需用費）6千円 ○新たな地域農業経済モデルの創出 ・未利用果樹園の有効活用(果樹園地継承啓発セミナー)(報償費)57千円、(旅費)192千円、(需用費)480千円、(使用料賃借料)90千円 ・花きの地域内消費のモデルの創出(花代、花きPRパネル代等)765千円、(印刷製本費等)6千円		
※経費内訳はR7年度事業費	  ▲オンライン交流会 ▶地域内対話支援		
KPI	①農産物販売金額1,000万円以上の農業経営体数（+363件） ②農地・農業用水等の保安全管理などの地域農業の持続的発展に資する取組を行う関係人口の数（+174人） ③農地中間管理事業を活用した園地継承重点対象3品目（もも、日本なし、ぶどう）の賃貸面積（+106ha） ④県内4市場における県産花きの取扱い本数（+270万本）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 塙町：https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html （効果検証） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 塙町：https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html	

事業概要【スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか 6 自治体※		初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	598,613千円 (95,424千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	「スポーツ」というあらゆる人々の共通項となり得る「ツール」を用いて、県民相互の交流を促進し、高齢者や障がいのある人も含めた多様な人々が交流・活躍できる機会を創出することで、全ての県民がいきいきと活躍できる社会を形成するとともに、スポーツ観戦客を広く呼び込む取組や合宿等の誘致を図ることにより県外からの交流人口を拡大させるなど、スポーツが持つ力により地域全体の活性化を実現する。			
事業概要・主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	○eスポーツを用いた多様な交流・つながり創出プロジェクト 「誰でもどこでも楽しめる」特性をいかし、eスポーツを通じて多様な交流を促進するイベントの実施（委託料）8,340千円他 ○パラスポーツによる多様性理解促進プロジェクト 障がいのない人も対象とした出前講座や体験イベント等を実施し、多様な交流を推進（委託料）10,594千円他 ○プロスポーツによる地域活性化プロジェクト 県内のプロスポーツチームの選手と県民が交流するイベントやPR、県外のサポーターが観戦時に県産品等の魅力にふれあう機会を設けることで、スポーツ観戦による交流人口拡大を図る（委託料）45,747千円他 ○サイクリングを活用した持続可能な地域づくりプロジェクト サイクリングコースや合宿誘致を目的としたコンテンツを造成し、持続的な誘客や交流人口拡大を図る（委託料）8,764千円他		・全ての県民が、いきいきと活躍できる社会形成 ・スポーツの力による地域活性化 多様な交流機会創出 交流人口拡大 eスポーツ パラスポーツ プロスポーツ サイクリング	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業をきっかけに誘致・開催されたスポーツ関係の大会・合宿等の参加者数（+2,960人） ②民間主体のeスポーツ交流イベント等の開催件数（+22件） ③パラスポーツ出前講座等受講者数（+5,500人） ④プロスポーツ平均入場者数（+3,562人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 福島市：https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市：調整中 いわき市：https://noreru-iwaki.jp/ 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市：https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 喜多方市：https://zo-sa.net/news/5122/ （効果検証） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 福島市：https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html いわき市：https://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1457395174096/index.html 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市：https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 喜多方市：https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html	

※福島県、福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市の広域連携事業

事業概要【福島発産学官連携による脱炭素社会推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	163,092千円（32,890千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関連産業の育成・集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取り組みを後押しし、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出を図るため次を行う。 ①県内企業の脱炭素化による産業競争力維持・向上 ②水素関連産業の育成・集積に向けた人材育成・確保		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	○脱炭素関連技術開発事業化可能性調査 ・脱炭素関連産業参入に向けた関連技術F S調査実施支援（補助金）20,000千円（事務経費）216千円 ○産学官連携水素研究支援事業 ・福島大学が設置する水素関連調査・研究に対して支援し、本県の水素社会の実現及び関連産業の育成集積を図る。（補助金）10,000千円他 ○未来を担うカーボンニュートラル人材育成事業 ・工業高校生等に対し、福島県再生可能エネルギー研究所やREIFふくしまの見学などを通じ、再エネ・水素関連技術などカーボンニュートラルに関する取組を学ぶ機会を提供し興味や関心の喚起、知見の習得を促す。（使用料賃借料）2,240千円 出典：環境省		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①脱炭素化に向けた計画を策定し、実現した企業数（+19件） ②水素関連企業との共同研究や事業化など商談が成立した企業数（+7件） ③テクノアカデミーにおけるZEH関連資格（スマートマスター）の取得件数（+17件） ④脱炭素関連技術開発事業化可能性調査を実施した企業数（+25件）	関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html	

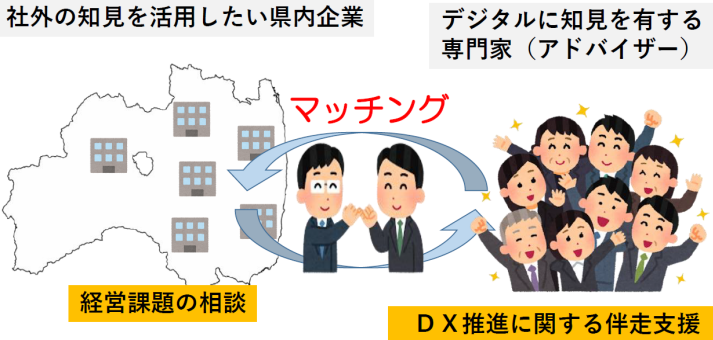
事業概要【転職なきふくしまぐらし。推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか 3 自治体※		初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R7年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	583,717千円（212,106千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	テレワーク等をはじめとした多様な働き方や暮らし方が可能な環境を整備するとともに、県内における理想の働き方や暮らし方の実践事例をPRし、移住を促進する。さらに、移住してきた新たな人材が地域課題のビジネス化を通して地域との関わりを深めていくことを促し、地域活力の向上を図る。			
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○転職を伴わない移住者等の取込 ・テレワーク体験や移住体験の受け入れ環境の整備等（委託料等）164,273千円 ・オーダーメイドてんえい暮らし体験事業（委託料等）8,741千円 ・シティプロモーション推進事業（委託料）3,480千円 ○地域課題のビジネス化による解決 ・企業等がビジネスとしての地域課題解決に取り組む事例をモデル化（委託料等）15,920千円 ・地域キーパーソン等とのマッチング（委託料等）19,692千円		 受け入れ環境の整備（テレワーク体験者や地域の方を交えたトークイベント） 地域課題のビジネス化（地場産品のポップアップストアを展開）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県で転職を伴わないことを前提とした移住体験をした人数（+780人） ②ビジネス化した地域課題数（+9個） ③仕事化した地域課題等に関わった人数（+510人） ④転職を伴わない移住者等と地域をつなぐ拠点となったテレワーク施設数（+33施設）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 須賀川市：https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html 天栄村：https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/iju/ 伊達市：令和 7 年 9 月公表予定（効果検証） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 須賀川市：https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html 天栄村：https://www.vill.tenei.fukushima.jp/soshiki/35/chi housousei-sougousenryaku2.html 伊達市：https://www.city.fukushima-date.lg.jp/soshiki/1/74845.html	

※福島県、須賀川市、伊達市、天栄村の広域連携事業

事業概要【ふくしま中小企業等DX伴走支援事業】

申請者	福島県ほか2自治体※					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	157,217千円（57,728千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・デジタル技術等により企業の生産性を高め、魅力ある商品、サービスの提供を図る。 ・魅力ある企業が増加することで、県内への移住・定住促進を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○DX理解促進・伴走支援に係る委託費 ・人手不足等の課題についてDX推進による解決手法を学ぶセミナー・ワーク・ショップを開催（委託料）5,563千円 ・企業のDX導入に向けた伴走支援（委託料）29,098千円 ・成果発表会、事例集・動画作成：2,453千円 ○高度データ利活用ひとづくり事業 ・データを活用できる即戦力人材の確保・育成支援（委託料）2,739千円 ○DX導入支援補助金 ・既存のクラウドサービスシステムを活用したデータ管理の導入等を支援（補助金）10,000千円					 社外の知見を活用したい県内企業 デジタルに知見を有する専門家（アドバイザー） マッチング 経営課題の相談 DX推進に関する伴走支援 企業の経営課題に応じたDX専門家による伴走支援！！	
地域の多様な 主体の参画	伴走支援で得られたた県内中小企業の多様なDX導入事例を商工会、商工会議所と連携して、県内事業所に周知、紹介することでDXの推進を図っていく。 また、企業内のDX推進に必要なデジタル技術に強い人材育成等について、県内大学と意見交換を行い、連携した取組を検討していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①伴走支援によりDXを推進し、経営課題に取り組んだ企業数（+93社） ②DX理解促進セミナーへの参加者数（+320社） ③横展開したモデル事例数（+300社）

※福島県、いわき市、須賀川市の広域連携事業

事業概要【福島県次世代航空モビリティ・宇宙産業集積推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	387,549千円（151,771千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・社会実装が進み急速に市場が拡大すると予測されている次世代航空モビリティ分野について、コーディネーターの設置、サプライチェーン構築などに取り組み、育成・集積を図る。 ・民間取引の拡大基調に移行した宇宙分野において、新たに産学連携の研究開発支援に取り組むなど、育成・集積を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	1 次世代航空モビリティ分野 (1)航空宇宙産業コーディネーターの活動【委託料】(20,000千円) (2)次世代航空モビリティ分野に関する企業勉強会を運営 【報償費（講師）、講師旅費、需用費（資料準備）】(3,000千円) (3)サプライチェーン構築支援【補助金（研究費用）】(10,000千円) (4)認証・資格取得について、選定企業に対する技術的支援 【委託料（専門機関支援）、補助金（認証取得経費）】(12,281千円) 2 宇宙分野 (1)県内大学と県内企業の共同研究・技術開発【補助金】(20,000千円) (2)JAXAとの連携強化（企業の技術力向上）【委託料】(1,500千円) (3)展示商談会等への出展を支援【委託料、補助金】(30,316千円) (4)県内宇宙系スタートアップを支援【委託料、使用料、役務費】(14,674千円) 3 次世代航空モビリティ分野・宇宙分野 機材設備導入を支援【補助金】(40,000千円) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①次世代航空モビリティ関連分野及び宇宙関連分野への参入企業数（+13社） ②サプライチェーンにおける受注件数（+4件） ③次世代航空モビリティに対応した認証取得企業数（+4社） ④「航空機用原動機製造業」・「その他の航空機部分品・補助装置製造業」付加価値額（経済センサス）（+60百万円） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html		

事業概要【福島県産医療機器ステップアップ支援事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,279千円（64,093千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	福島県内医療機器等メーカーによる新たな医療機器等開発案件が創出されるとともに、開発した製品の販売が促進されることにより、医療機器生産金額及び部品等出荷金額を増加させる。 「医療関連産業を軸とした活力ある経済活動が持続するまち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○全国の医療現場における開発ニーズの目利きを実施し、事業性が見込まれる案件について、県内医療機器等メーカーとのマッチングを実施する。 ・開発ニーズと県内医療機器等メーカーのマッチング支援に係る経費（委託料）12,454千円 ・試作製作支援費（補助金等）10,058千円 ○県内企業が開発した製品のフォローアップ支援 ・開発した製品に関する市場調査等のフォローアップに係る経費（委託料）41,581千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①当事業による医療現場ニーズと県内医療機器等メーカーのマッチング件数（+15件） ②当事業により事業化または取引先数が増加した製品数（+10件） ③医療機器製造業登録事業者数（+10件） ④本県における医療機器生産金額（+564億円） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制 https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html



事業概要【デジタル技術を活用したものづくり企業の働き方改革支援事業】旧制度（推進）

申請者	福島県、白河市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	210,123千円（71,859千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・デジタル技術の製造現場への導入により、働き方改革を推進し、ものづくり企業の魅力向上を図る。 ・中小ものづくり企業が働きやすい企業に成長することにより、女性・若者の新規就労者が増加し、活躍することで地域の魅力の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	○製造業における働き方改革モデルの創出 ・セミナー、ワークショップの開催及びコーディネータ、アドバイザー派遣（委託料）15,730千円 ○地域産業の魅力向上支援 ・日本酒の製造工程をデジタル技術で見える化するIoTセンサデバイス及びデータ共有システムを試作開発（需用費）1,950千円、（委託料）7,106千円、（備品購入費）10,613千円他 ○働き方改革高度化支援 ・デジタル技術の試験導入と効果検証が手軽にできる「試作キット」の開発及び実証ラボの整備（需用費）7,900千円、（委託料）3,100千円他 ○中小企業DX活用推進事業 ・DX伴走支援及びセミナー開催（委託料）6,589千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+571千円/人） ②セミナー、ワークショップ、成果発表会等の参加者数（+480人） ③デジタル技術導入支援数（+315件） ④デジタル技術の導入による働き方改革・改善件数（+30件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 白河市： https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 白河市： https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html

事業概要【地域課題解決プロジェクト創出事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県、会津若松市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	439,531千円（152,177千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・多種多様な人材が自分らしい働き方をできる新たなしごとの創出 ・地域課題を解決する新たなチャレンジ人材の確保 ・新規性・成長性をもった事業者と地元企業の連携による新事業創出		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	○新規性・成長性のある事業者の創出・意識醸成 ・ピッチコンテストの開催（委託料等）11,333千円 ・新規プロジェクト立ち上げ支援（委託料等）21,670千円 ○地域課題解決に向けた新規チャレンジ人材育成 ・県内等の大学・研究機関の事業化支援（委託料等）40,774千円 ・女性の創業支援専門人材育成（委託料等）7,694千円 ○新規性・成長性のある事業者の成長支援と県内企業との連携強化 ・県内での事業拡大に向けた成長支援（委託料等）25,340千円 ・デジタル商品、サービスおよび技術の展示・体験会を開催 （委託料等）14,550千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①地方へのU I J ターン数（+250世帯） ②新規プロジェクト立ち上げ件数（+29件） ③地域課題解決事業と県内企業等のマッチング件数 （+32件） ④意識醸成に向けたコンテスト参画数（+270人）	関連 URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html 会津若松市： https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100_032/ （効果検証） 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 会津若松市：調整中

事業概要【魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業】

申請者	福島県ほか6自治体※					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	125,049千円 (37,055千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	人口減少・高齢化が進む中、サービス産業が衰退し、それが若年層の減少を加速させるという負のスパイラルを回避する観点から、鉄道沿線を軸に都市機能が集積するという構造を活かして、沿線の市町村間で機能を分担・連携する「コンパクト＋ネットワーク」を構築し、住民が参画した地域社会を形成することにより、持続可能な地方創生を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○磐越東線の魅力を強烈に発信することで、鉄道ファンを中心に県内外から誘客し路線の認知度を向上させるとともに、沿線住民の関心を高め、住民を巻き込んだ駅と鉄道を活かした地域活性化を図る。 ・磐越東線「ふくしま鉄道博」開催等（委託料）16,763千円 ・公共交通サービス運行実証事業等（委託費等）5,990千円 ・水郡線利活用事業（サイクルロゲイニングイベント）（委託料）3,000千円 ・小川地区域内交通確保実証事業等（負担金等）6,134千円 ・団体臨時列車運行事業等（委託費）3,368千円 ・小野新町駅開業110周年記念イベント（委託費等）1,800千円						
地域の多様な 主体の参画	沿線の商工団体、市町村、県と沿線自治体で構成する協議会等において、地元イベントと県事業の連携を図るとともに、沿線地域の中心的な立場からの意見を吸い上げ、今後の運営への反映に取り組む。 沿線の高校・大学等において、利活用プレゼン大会参画や部活動・サークル等によるイベントへの協力を図るとともに、鉄道の通学利用者の立場、地域の将来を担う若い世代の立場からの意見を吸い上げ、今後の運営への反映に取り組む。 沿線の新聞社等において、事業に関する情報発信への協力を図るとともに、メディアの立場からの意見を吸い上げ、今後の運営への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲6,389人） ②来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合（＋4.50％） ③地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合（＋40.00％） ④地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合（高校在学中）（＋70.00％）

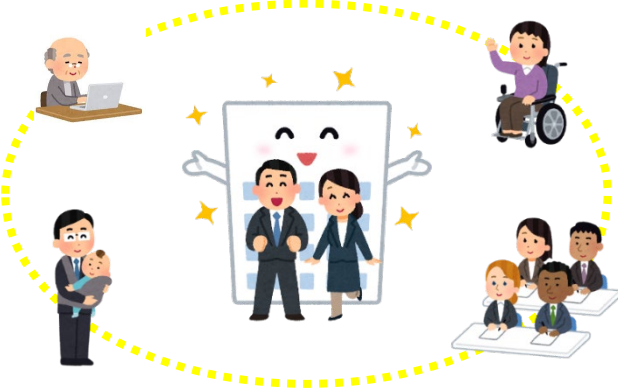
※福島県、郡山市、石川町、玉川村、いわき市、田村市、小野町の広域連携事業

事業概要【選ばれるふくしま県内企業人材確保プロジェクト】

申請者	福島県ほか2自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	657,141千円(219,047千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	- 県内企業の魅力の底上げ及び魅力の発信力強化の初期段階を支援するとともに、企業一社一社が自社の魅力に気づき、魅力を高め、魅力を発信するサイクルを構築することで、県内外の若年層を含めた多くの人材確保・定着が進んでいる状況を目指す。 - 県内製造業において若年人材を安定的に確保できる仕組みを構築し、産業競争力の強化や地域活性化による本県全体の魅力向上を目指す。また、若年人材が活躍ができる新規就業を実現するのみならず、新入社員のネットワークづくりや相談支援を行うことで職場定着を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 以下の取組を一体的に取り組み、県内企業の魅力の底上げ、魅力の発信、学生と企業の接点創出を行うことで、県内企業の認知度向上、理解促進及び県内就職への関心向上を図る。 ○若者に選ばれる県内企業魅力づくり ○就活サイトタイアップ 企業情報発信 ○県内企業体験ツアー・交流会運営 ○学生×企業デジタルプロジェクト ○若年者に対する製造業の理解促進（高校生・理系大学生） ○新規高卒者の県内就職促進 ○上場企業育成支援 【ソフト事業経費】 ・セミナー、ツアー・交流会開催、情報発信、対象者への講話等の実施（委託料）219,047千円						
地域の多様な 主体の参画	本プロジェクトの魅力づくり、情報発信の主体となる県内企業に広く参加を促し、参加後の取組の内製化を支援するとともに、本事業のターゲットとなる若者の所属する教育機関と保護者に向けて広く周知広報や協力、参加勧奨を行う。また、報道機関や地元金融機関の協力も仰ぎ、広く企業及び県民への周知広報を行う。事業実施にあたっては、企業及び若者双方のニーズや課題を把握し、事業運営に反映していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用保険被保険者数（±0人） ②新規大学等卒業者の県内就職率（+1.5%） ③新規高卒者の県内就職率（+0.15%） ④転職サイトタイアップによる公開企業情報への応募数（+750件） ⑤参加者アンケートによる地元企業に興味を持った人数の割合（+0.45%）

※福島県、郡山市、須賀川市の広域連携事業

事業概要【多様な人材活用促進事業】

申請者	福島県ほか 4 自治体※						初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	91,378千円 (29,641千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	シニア層や育児・介護中の短時間労働希望者、障がい者、外国人などをはじめとした多様な人材の活用・働き方に対する企業の「気づき」を促すとともに、受入に向けた環境・体制づくりを図ることで、人手不足の解消と、立場の異なる多様な人材が働き手として活躍できる社会を形成する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多様な人材活用に対する企業の「気づき」を促すセミナーや活用事例の情報発信等を行うとともに、人材の受け入れ、雇用に向けた相談支援やセミナー、交流会等の開催を行うことで、多様な人材活用の推進を図る。 【ソフト事業経費】 ○求める人材再発見支援事業 ・セミナー実施、企業見学会、動画制作（委託料） 15,104千円 ○多様な人材雇用に向けた支援事業 ・外国人材雇用サポートデスク運営、人材迎え入れセミナー、労働者交流、障がい者向けオンラインサロン構築（委託料） 14,537千円							
地域の多様な 主体の参画	人材活用の主体となる県内企業に広く参加を促すとともに、多様な人材に係る教育機関や支援機関と連携して対象者の課題やニーズを把握していく。また、報道機関や地元金融機関の協力も仰ぎ、広く企業及び県民への周知広報を行う。事業実施にあたっては、企業及び人材双方のニーズや課題を把握し、事業運営に反映していく。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用保険被保険者数（±0人） ②本事業による外国人雇用（+75件） ③外国人向け研修会・交流事業参加者数（+30人） ④メタバースによるオンラインサロン参加から就労支援機関につながった利用者数（+8人）

※福島県、福島市、会津若松市、いわき市、須賀川市の広域連携事業

事業概要【福島県観光誘客促進プロジェクト事業】

申請者	福島県ほか6自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,364,661千円(509,652千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	観光周遊施策の強化・充実を図ることによって、県内の観光客入込数だけではなく、観光宿泊者数の増加を図る。加えて、観光交流人口に留まらず、その先の移住・定住人口の増も見据え、まずは新型コロナや人口減少により低下するおもてなし力(観光受入体制)の強化を図り、「再び訪れたい福島」を創り、旅行者満足度の向上やリピーター増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○観光客受入体制の強化 ・デスティネーションキャンペーンのぼり等のPR素材の制作及び観光事業者等に対するおもてなし研修の実施(委託料)56,101千円 ○観光コンテンツの造成・強化 ・観光事業者等への専門家派遣による観光コンテンツの磨き上げの支援の実施。(委託料)12,100千円 ・新しい切り口での新規観光コンテンツ造成の支援(補助金)13,605千円 ○本県観光の魅力発信 ・インバウンド観光客を獲得するため、福島県ならではのストーリー性を持ったコンテンツの情報発信(委託料)39,144千円 ○観光客獲得、周遊促進 ・県内に数多く点在しているアートを切り口とした観光周遊の推進(委託料)20,812千円 ・広域周遊のための移動支援の推進(委託料)33,517千円					 キャッチコピー発表会	
地域の多様な 主体の参画	官民一体となって事業を進めていくため、県と市町村の代表(方部協議会)、観光団体、経済団体、交通団体などで構成される「福島県デスティネーションキャンペーン実行委員会」を立ち上げ、各種事業や方向性の調整等を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数(+5,000千人) ②県内宿泊者数(+800,000人泊) ③観光消費額(宿泊)(+30,000百万円)

※福島県、福島市、郡山市、喜多方市、伊達市、檜枝岐村、玉川村の広域連携事業

事業概要【「未来につなぐものづくり」技能継承と価値創造プロジェクト】

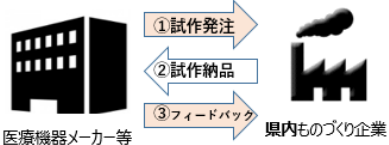
申請者	福島県ほか2自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	372,515千円 (137,521千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	○県内中小製造業が県内IT産業と連携しながら、IT技術を駆使し効果的な知識・技能継承を実現し、更に自社製品の付加価値向上や新規取組に挑戦することができるような企業競争力の高いふくしまを目指す。 ○地域の産業振興を担う産業支援機関の支援力を強化することにより、企業が抱える商品開発や技術的な課題等の解決につなげる。さらに、中小企業の有するノウハウ、知見、アイデア、デザイン等の無形資産は企業競争力の源泉であり、戦略的に活用することが求められる。これらの知見を産業支援機関が獲得し、企業支援に活用することで、産業財産権の出願数の増加に結び付け、企業価値の向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ものづくり技能継承支援事業 ・県内中小企業の重要な業務プロセスや製造技術における知識・技能継承に効果的なシステム等の導入支援（委託料）42,147千円、（補助金）2,000千円 ○ものづくり中小企業開発・開拓 ・中小製造業の製品開発支援、商品販売ノウハウに関する伴走支援、DX技術導入に係る企業向けセミナー（委託料）25,561千円、（補助金）2,000千円他 ○キャッシュレス決済端末導入支援事業 ・キャッシュレス決済事業者等によるセミナーやワークショップ（委託料）22,434千円 ・キャッシュレス端末導入に係る費用補助（補助金）10,500千円						
地域の多様な 主体の参画	○本事業の推進主体として県内製造業と共同で事業に取り組むとともに、県内企業に対し、本事業内容の周知・広報を実施する。 ○大学の高度な知見を活かし、企業が抱える課題解決のための専門家として参画していただく。 ○金融機関から経営・資金面からの専門的な助言や情報共有をいただいたり、事業化の際に必要な融資を実施していただく。 ○定期的な報告会等を通じて企業、大学、金融機関、報道機関から課題やニーズ等の意見を頂き、施策に反映する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によりDX化に取組み、経営改善することが出来た事業者数（+51社） ②知識・技能継承に係るIT技術の試行的導入数（+10件） ③知識・技能継承に関するIT導入をきっかけに、更なるIT利活用に繋げた企業数（+5社） ④開発製品関連の売上総額（+9,000千円） ⑤産業財産権の出願件数（+138件）

※福島県、郡山市、須賀川市の広域連携事業

事業概要【エアロスペース人材育成事業】

申請者	福島県、福島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	97,210千円 (29,255千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・宇宙産業において福島県は地理的に東側に海が開けていてロケットなどが打ち上げやすいという利点があり、相性の良い企業や洗練された関連技術がたくさんあるためにサプライチェーンの獲得という面でも強みがある。そのため航空宇宙産業が県を代表する産業の一つとして大きく成長し、若年者を中心に製造分野の従事者も増加していくことが期待される。 ・宇宙開発においても国を牽引し、研究施設等も整備され、宇宙産業への支援も強化していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 LSAを技術者向けの機体形状の検証や若年者向け校外学習の場として活用、技能者育成プログラムの作成・検証、航空宇宙関連産業新規参入検討企業在职者向けセミナーを実施する。また、子供向けに空をテーマにしたイベントを開催する。 【ソフト事業経費】 ・完成LSA（軽量スポーツ航空機）の活用（委託料）9,315千円、（役務費）400千円他 ・宇宙関連機器製造における技能者育成プログラム開発（委託料）3,567千円、（需用費）3,601千円他 ・企業在职者向けセミナー（委託料）3,550千円、（役務費）300千円他 ・ふくしまスカイパーク活用推進事業（委託料）4,700千円					完成軽量飛行機  小型ハイブリッドロケットエンジンの燃焼試験 	
地域の多様な 主体の参画	地元関連企業の在职者に対して、航空宇宙関連産業で必要とされる技術付与のためのセミナー等を開催し、航空関連産業への興味関心を高めるとともに、地域活性化を図る。 テクノアカデミーと共同で事業の軸となる技能者育成プログラムの開発・作成およびその実証を行い、さらに地域のイベントなどの実践的校外実習により、航空関連産業への従事者増を目指す。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①テクノアカデミーの関連科における県内航空宇宙関連企業への就職者数（+6人） ②宇宙関連機器製造における技能者育成プログラムの作成数（+6本） ③企業在职者向けのセミナーの受講者数（+160人）

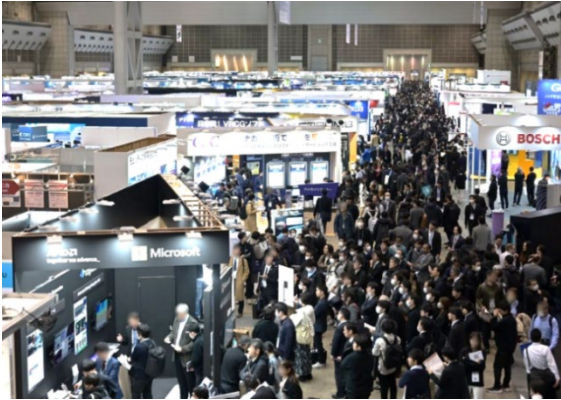
事業概要【福島県医療関連産業成長のためのエコシステム構築事業】

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	591,767千円 (198,089千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・イノベーションを創出できる次世代の医療関連産業人材を育成し、若年者等の地域定着を促進する。 ・全国のスタートアップ企業等のアイデアを県内ものづくり企業等が連携して形にするシステムを構築する。 ・産業のすそ野拡大のため、IT/AI技術を活用した医療機器開発を支援できる県内企業の増加を図る。 ・世界の医療機器市場の約44%を占める米国市場に参入する県内企業の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○高校生等向け人材育成 ・医療機器体験学習会等（委託料）16,200千円 ○高校生等を指導できる人材の育成 ・バイオデザイン講座等（委託料）9,400千円 ○普及啓発のためのイベントの開催 ・小中学生向けのイベント（委託料）7,500千円 ○スタートアップと県内企業との取引成立を促進する取組 ・県内企業と連携したブース出展経費等（委託料）99,089千円 ・医療機器開発支援経費（補助金等）20,530千円 ○県内IT関連企業等の医療関連産業への参入を促進する取組 ・医療関連産業への新規参入を目指す企業への伴走支援等（委託料）19,500千円 ○米国市場獲得に向けた取組 ・米国で開催される展示会への出展・ブース装飾費用等（委託料）20,700千円					バイオデザイン講座  SaMDビジネス参入支援 取引成立促進支援  米国展示会出展支援 	
地域の多様な 主体の参画	○協議会との定期的な意見交換や、県・機構・参加高校等による人材育成に関する意見交換会を実施し、施策に反映する。 ○県の医療関連産業の施策について産学官金で検討する次世代医療産業推進プロジェクト企画運営委員会において、施策の実施状況や今後の対応方針に関する意見を聴取し、施策への反映を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①福島県における医療機器生産金額（+117億円） ②プログラム参加者の県内医療機器関連産業への就職数（+6人） ③本事業により成立したスタートアップ企業等と県内企業との取引成立数（+8件） ④米国展示会を契機とした商談成立件数（+15件）

事業概要【ふくしまナースライン事業】

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,786千円 (43,732千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	福島の看護の情報を提供する公式LINEアカウント「ふくしまナースライン」を開設し、LINE友だち登録したユーザーにLINEを通じ看護師等養成所への進学、県内就業、離職防止、復職まで広く情報提供等により支援し、人材の安定的確保につなげるとともに、若い世代に看護職のやりがいや魅力を発信することで、看護職への興味・あこがれ、看護職に就きたいというモチベーションを高め、将来へのキャリアデザインにつなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 当県で実施している各種事業の情報発信を効果的に行うために、福島の看護の情報を提供する公式LINEアカウント「ふくしまナースライン」を開設し、看護の情報をより手軽・安全・身近に受け取ることのできる体制を整備する。 ※情報発信する事業一例（以下事業は本事業とは別事業として実施） ・看護師等学校養成所募集リーフレット作成 ・看護学生実習受け入れ促進事業 ・高校生の1日看護体験実施事業 ・看護体験イベント開催事業 ・看護職キャリアスタートガイドブック ・潜在看護師等再就業促進・緊急時確保事業 【主な経費】 公式LINEアカウント開設、運営事務（広報含む）に要する経費委託料 43,732千円						
地域の多様な 主体の参画	県内医療機関や看護師養成機関、教育委員会等に生徒や学生が興味を持つような情報を確認し、その結果を踏まえ情報発信の内容をより良いものとし、併せて広報の協力をしていただく。 本事業LINEアカウントの友だち登録者にアンケートを実施し、アンケートの結果を踏まえ利用者目線で事業内容をブラッシュアップする。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①就業看護職員数（常勤換算数） (+1,757人) ②看護師養成所等入学者数（充足率） (+12.2%) ③看護師養成所等卒業生の県内就業率 (+8.6%) ④LINE友だち登録者（+21,640人）

事業概要【次世代モビリティ・E V 参入促進事業】

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	92,268千円 (29,794千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・自動車関連企業自らが、電動化やSDV（ソフトウェア・ディファインド・ビークル）等の生産に係る事業環境の変化に柔軟に対応できるよう、業界の潮流の変化を的確に捉えることができる力をつけ、事業転換や新分野参入を見据えた製品開発や独自の販路構築を進め、新たな取引を増加させることにより、持続的な操業を目指す。 ・カーボンニュートラル関連産業の育成、集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取組を後押しすることにより、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出、定住促進を図ることを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○次世代モビリティ・E V 参集促進事業 ・次世代モビリティ分野の基礎知識や業界ニーズを習得するセミナー（委託料）21,915千円、（需用費）100千円他 ○水素関連産業人材育成事業 ・水素活用に関わる技術動向等を学ぶセミナー・見学会開催（委託料）6,519千円、（需用費）926千円他						
地域の多様な 主体の参画	○福島県内の自動車関連企業が主となる福島県輸送用機械関連産業協議会の会員向けに、セミナーやワークショップ等を開催し、業界の最新情報を収集する機会や企業間の関係性構築につながる機会を提供することで、新分野参入や企業間連携を促進する。 ○事業展開に当たっては、セミナーやワークショップの参加企業にニーズ等の意見を頂き、事業内容に反映する。 ○水素関連産業の普及拡大や産業の参入に向け、水素関連研究会や水素関連企業から頂いた意見を企業在職者等対象のセミナーや講座等の事業運営に反映させる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による支援企業等の商談成立件数（+35件） ②自動車関連企業向け展示商談会への出展企業数（+39社） ③ワークショップ・セミナーへの参加企業数（+90社） ④福島県内の水素関連研究会及び活動団体に新規参加した企業数（+9社）

事業概要【飯野地区の観光とまちづくりの拠点再整備事業】

申請者	福島県福島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,297千円 (3,297千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	•施設の利用者の満足度を高めるために、第1展示室を宇宙空間をイメージした暗色ベースの床にし、さらにUFOをイメージした白ベースの展示台を設置する等、ミステリアスな印象を与える施設として再整備する。 •当該改修により、施設の利用者数と満足度が向上し、併設する物産館等の売り上げも増えることが見込まれる。また、飯野地区内におけるイベント開催時の集客数の増加や商店街等の周遊促進の相乗効果も見込み、地域の経済効果に寄与し、持続可能な地域振興を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業費】 ○施設の利用者の満足度を高めるために、UFOふれあい館の第1展示室を宇宙をテーマとした暗色ベースの床面の張替、「国際UFO研究所」のロゴデザインをエントランスに設置し、ミステリアスな雰囲気を演出する等の内装に改修。 ・仮設工事 145千円 ・内装工事 1,757千円 ・諸経費 830千円 ○UFOをイメージした白ベースの光沢のある展示台等、無機質な印象を与える備品を整備。 ・内装工事 565千円						
地域の多様な 主体の参画	振興公社において、施設の運営管理や商品販売等を行い、地域活性化につながる地区・UFO関連イベントを開催する。 地元企業に管理運営委員として参画いただき、事業評価を実施する。 町内会は、地域住民の物産館への商品出品やイベント参加を促進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数(飯野地区) (+7,012人) ②UFOふれあい館・UFO物産館等利用者数 (+15,302人) ③UFOふれあい館入館料等収入金 (+1,996千円) ④UFO物産館総売上 (+5,198千円)

事業概要【多世代共生の潤いのまちづくり「誰もが楽しく生涯活躍できる"みちのくの玄関白河"」】

旧制度（推進）

申請者	福島県白河市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	269,340千円（36,229千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本市の魅力をさらに強化・発展させるとともに、年をとっても活躍しながら住み続けられる安心や経済的な安定を提供する環境を整備し、多世代共生の潤いのまちづくりを進めることで、「誰もが楽しく生涯活躍できる『みちのくの玄関白河』」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○女性に寄り添うライフ・ワークサポート社会実装事業 子育て等によるブランクから就職に不安がある女性等を対象としたワークショップ・セミナーの開催 (委託料 9,000千円) ○地域プレーヤー創出・育成事業 地域ビジネスに高い関心を有する人材の発掘・育成 (委託料 5,125千円) ○文化芸術活用による人材ハブ機能促進事業 文化と芸術に関連する地域資源を活用した本市への多様な人の流れを生み出す(委託料 1,325千円) ○しらかわ移住魅力発信事業 本市に移住した際の魅力をYouTubeで発信 (委託料 5,317千円) ○しらかわ移住コーディネーター配置事業 移住希望者からの相談への対応や移住に係る制度の活用支援、移住者のコミュニティ形成支援(委託料 2,392千円) ○いきいき健康ポイントプログラム事業 ウォーキング等への参加等にポイントを付与する健康ポイントプログラムの実施 (委託料等 11,678千円) ○高齢者見守り生活支援事業 高齢者の見守りと買い物支援の実施 (委託料 1,392千円)		 【ワークショップの様子】  【本市の魅力発信】
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市独自の支援制度を利用した移住・定住者数（+900人） ②本事業を通じ本市を訪れた大学生等（高等教育機関の学生）の数（+110人） ③起業者及び新規法人設立数（+12件） ④生涯活躍事業（本事業）に参加した市民の数（+7,000人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html (効果検証) https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html

事業概要【よみがえれ!歴史的建造物活用事業】

申請者	福島県白河市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	510,315千円 (27,010千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	令和6年度に公有化した歴史的建造物である「大木家住宅建造物群」を、宿泊等が可能な地域交流拠点として整備する。分散型ホテルや飲食店等として活用することで、歴史文化に関心を持つ国内外観光客の集客や事業者の誘致、地域内消費の拡大等につなげ、地域経済の活発化を実現する。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	大木家住宅建造物群の利活用のための改修に向けて、基本設計を行うとともに、開業後の当該施設の管理運営や分散ホテル・飲食店等の店舗を運営する事業者を選定する、まちづくり会社を設立を支援する。 ○拠点整備事業の内容 【基本設計業務委託】 12,540千円 ○ソフト事業の内容 【歴史的資源を活用したまちづくり体制支援業務】 14,470千円					大木家住宅建造物群の活用ラフプラン(案)	
地域の多様な主体の参画	まちづくり会社が開業後の大木家住宅建造物群の管理運営を行う。また、利用者の増加のためのPRや、地域住民も参画するイベント等を開催してもらう。 大学の工学部に建築学の立場から、歴史的建造物である大木家住宅建造物群の改修や利活用に対し、助言をもらう。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数(中心市街地) (+36人) ②宿泊を伴う観光客数(大木家住宅) (+1,400人) ③移住・定住者数 (+465人) ④新規店舗設立数 (+7件)

事業概要【ポピュレーションアプローチの強化による健康増進及び産業活性化事業】旧制度（推進）

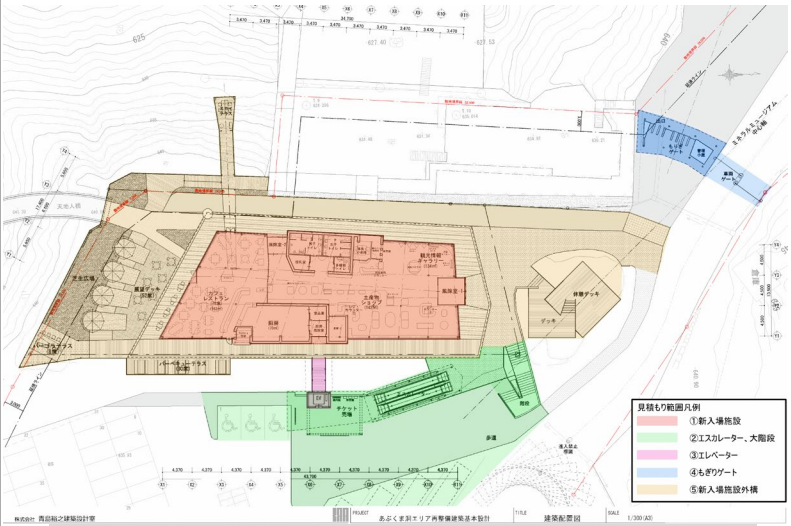
申請者	福島県喜多方市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	117,392千円（16,063千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・幼児期からの楽しみながら体を動かす機会や場の提供により、生涯を通じた運動習慣の定着を図る。 ・成長期の適度な運動と食育により望ましい食生活習慣を実践し、子どもの健全な発育・発達を図る。 ・食育応援店等の協力店で利用できる商品券を交付することにより、市内全域の経済の活性化を図る。 ・子どもの健康をテーマとした取組みと、多様な観光資源の融合により、新たな交流人口の創出を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○子どもが楽しめる「スポーツ健康ゾーン」の管理運営 ・管理運営業務委託料 10,965千円（スポーツ体験会・イベント等開催経費を含む） ○子どもの成長を見える化できる「体組成測定」の実施 ・測定業務委託料 198千円 ○「m（めご）ポイント事業」や協力店の拡大に関する経費 ・健康コーディネーターの配置、商品券及び事業周知パンフレット等作成経費 2,500千円 ○新たな観光コンテンツの周知PR活動経費など ・パンフレット等印刷経費等 2,400千円		 子どもが楽しめる「スポーツ健康ゾーン」の管理運営
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スポーツ健康ゾーンの利用者数（+50,000人） ②肥満傾向児出現率減少値（小5男子）（▲7%） ③市「食育推進連携事業」参加者数※児童等（+20人） ④観光客入込数（+5万人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/aidemi-kitakata/ （効果検証） https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html

事業概要【桜を起点としたデジタル誘客消費喚起事業】

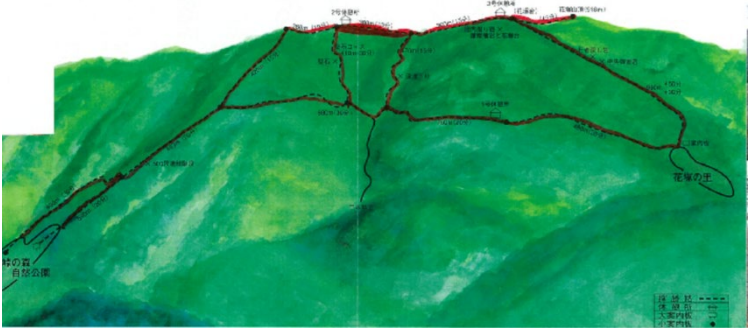
旧制度（推進）

申請者	福島県田村市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	57,715千円（17,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・「観光のまち」を取り戻すための桜を起点とした誘客促進による消費喚起を図る ・原発事故後に一度は失われたシビックプライドの醸成に向けた市民参加型の観光の組成 ・インバウンド誘客に向けた受け入れ環境の強化を見据えた多言語対応デジタルパンフレットの整備 ・市内観光周遊の活発化に向けたデジタルスタンプラリー等による周遊促進、消費喚起		
事業概要・ 主な経費	○桜を起点としたデジタルスタンプラリーを実施し、市内の周遊促進の企画実施 ・アプリ開発・システム構築（委託料）2,000千円 ・特設サイト構築費（委託料）1,000千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）900千円 ○台湾に向けたインバウンドプロモーション ・台湾需要調査（委託料）3,000千円 ・企画・設計（委託料）5,000千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）4,000千円 ○閑散期における誘客促進に向けたフォトラリーの実施 ・企画・設計（委託料）500千円 ・調査費（委託料）200千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）500千円 来訪者 デジタルパンフレット スタンプラリー 開花情報 インバウンド 周遊コース オンラインショップ 周遊促進・消費喚起 効果検証		
KPI	①観光消費額（+1,100万円） ②台湾人旅行客入込数（+100人） ③デジタルスタンプラリー消費額（+270千円） ④デジタルスタンプラリー・フォトラリー参加者数（+1,300人）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://visit-tamura.jp (効果検証) https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_1_1_1.html	

事業概要【あぶくま洞観光拠点整備事業】

申請者	福島県田村市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,114,237千円 (30,911千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・田村市全域の観光拠点整備による市内周遊促進、滞在時間の延伸及び観光消費額の増加を図る。 ・「食」の観光拠点整備によるリピーターの創出、田村市産品の安全性の発信力強化及び観光消費額の増加を図る。 ・インバウンド、高齢者等の受け入れ態勢強化による、誰もが平等に観光を楽しめる環境の提供を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業経費】 ○あぶくま洞敷地内に以下の設備を具備した「あぶくま洞観光拠点施設」を整備 ・実施設計（委託費） 30,911千円 施設整備内容 ①あぶくま洞観光拠点施設 観光情報ギャラリー（大型モニター、デジタルサイネージを含む） カフェ・レストラン お土産販売ショップ ②もぎりゲート（デジタルチケット、QRコード対応） ③エレベーター（バリアフリー対応） ④エスカレーター（バリアフリー対応） ⑤スカイテラス						
地域の多様な 主体の参画	高校の地域課題研究学習の授業を通じて、地域の魅力発掘、6次化商品の開発等に取り組む。 市観光協会、地域おこし協力隊による情報発信、あぶくま洞の指定管理者によるイベント開催、特色あるメニューの提供等により、利用者の増加につなげるとともに、ボランティアガイドの会と連携し、利用者からの意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+77,063千円） ②カフェ・レストラン利用率（+16%） ③敷地内キャッシュレス決済額（+60,200千円） ④あぶくま洞入洞者数（+27,000人）

事業概要【花塚山・峠の森自然公園施設整備事業】

申請者	福島県川俣町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	49,644千円（49,644千円）
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 花塚山山頂の東屋の整備、登山道・案内看板の整備を行い、山のポテンシャルを最大限引き出すこと、さらに「花塚山」をチェックポイントに置いた町全体で展開するデジタルスタンプラリーを町財源で実施し、「花塚山×デジタル」をテーマとした魅力的な観光拠点にするものである。 - これにより、町の交流人口、移住・定住人口の増やし、目標人口を2040年に9,000人程度に維持することを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○建築物整備の内容 - 花塚山3号休憩所東屋整備46,780千円 ○設備整備・用地造成等の内容 - 花塚の里道路整備1,742千円 - 峠の森自然公園看板整備1,122千円					花塚山3号休憩所東屋 	
地域の多様な 主体の参画	ふくしま田園中枢都市圏、阿武隈地域振興協議会において、広域的な工法手段や観光ルートの構築方法について意見聴取、検証を行う。 イベントの内容等について、教授や学生の意見を取り入れるため、大学と定期的に意見交換を行う。 「花塚山の会」の方とイベント内容に合わせた登山コースや開催時期について意見交換を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+200人） ②花塚山登山者数（+280人） ③キャンプ場利用者数（+240人） ④町民アンケートによる定住意向について、「これからも川俣町で暮らしたい」と答えた人の割合（+10%）

事業概要【半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光X（エックス）圏創生プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県只見町ほか4自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,690千円（34,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・八十里越街道・只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域観光経済効果を増加する。 ・広域観光連携による地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織を作る。 ・観光交流人口⇒関係人口⇒移住定住人口のサイクルを増加させ、人口減少による課題を解決する。 ・観光・経済・移住・環境教育の連携により人材の育成と確保を図る。		
事業概要・ 主な経費	○只見町 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業1,600千円 ・只見線魅力化・魅力発信事業13,000千円 ・只見線ビュースポット整備事業（ハード）1,000千円 ○南会津町 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業1,522千円 ○金山町 ・八十里越街道開通PR強化事業5,500千円 ・会津川口駅・只見線沿線魅力化事業3,050千円 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業（ハード）2,000千円 ○三条市 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業4,884千円 ○魚沼市 ・只見線魅力化・魅力発信事業1,744千円		
KPI	※経費内訳はR7年度事業費 ①地域における観光消費額（+11,944,080千円） ②只見線区間平均通過人数（+84人） ③移住者UIターン者数（+223人） ④エリア内連携コンテンツ数（+8件）		
		関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 只見町：https://www.town.tadami.lg.jp/referenceroom/town.html 南会津町：https://www.town.minamitsugu.lg.jp/official/chosetohcho/kakushukokaku/shinko/3453.html 金山町：https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/life/4/25/119/ 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：https://www.city.uonuma.lg.jp/life/6/（効果検証） 只見町：https://www.town.tadami.lg.jp/referenceroom/town.html 南会津町：https://www.town.minamitsugu.lg.jp/official/chosetohcho/kakushukokaku/shinko/3453.html 金山町：https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/life/4/25/119/ 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：https://www.city.uonuma.lg.jp/life/6/

※只見町、南会津町、金山町、三条市、魚沼町の広域連携事業

事業概要【矢吹町スポーツ×デジタル振興プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県矢吹町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	182,617千円（21,043千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	スポーツの価値やスポーツを活用した特色ある「まちづくり」に取り組み、官民連携により「スポーツ」と「デジタル」を掛け合わせ、スポーツをテーマにまちの賑わいを創出することにより、町民サービスの向上とともに関係・交流・流入人口の増加に向けた取り組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費	○スポーツコミッションの自走に向けた取り組み 6,022千円 ・支援業務、業務進行及び進捗管理 ・ソフト事業プログラムのクオリティチェック、アップデート ・人材育成の強化 等 ○スポーツ科学を軸にしたソフト事業の開発 3,388千円 ・企画、進行管理、関係各所との調整 ・プログラム開発：カリキュラム作成、指導マニュアル作成 等 ○実証事業の展開・デジタル活用の検討と実践 7,904千円 ・ソフト事業プログラム実証事業 ・機運醸成セミナー、スポーツイベント、シンポジウム開催 等 ○情報発信の強化(広報、プロモーション、PR、広告) 2,024千円 ・プレスリリース制作、配信 ・webサイト運営 等 ○その他 テストイベント諸経費 等 1,705千円		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	①ソフト事業への参加者数(+4,415人) ②ソフト事業の開発件数(+10件) ③事業関連の収入(+7,798千円) ④スマートパーク(仮称)利用者数(+5,953人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.yabuki.fukushima.jp/page/page009771.html (効果検証) https://www.town.yabuki.fukushima.jp/page/page009939.html
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【スポーツコミッションの創設によるスポーツツーリズム推進事業】

申請者	福島県棚倉町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	105,500千円（45,000千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 多様な主体との連携によりスポーツコミッションを創設し、スポーツを核とした交流人口・関係人口の拡大を図る。 - 町内の「テニスパーク棚倉」などのスポーツ施設を活用したスポーツイベントの開催やスポーツツーリズムの高付加価値化を図ることで、町内の観光消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○スポーツコミッション設立事業 17,000千円 ・スポーツコミッション設立経費 ・スポーツコミッション設立支援経費 ・スポーツコミッションPR経費 等 ○新たなスポーツツーリズム構築事業 9,000千円 ・新種目の市場調査及び新種目での誘致に向けた 事業戦略の策定支援費 ・新種目でのスポーツツーリズム実証経費 ○テニスの聖地化事業 9,000千円 ・硬式テニス等の新規の大会の創設 ・新規大会を利用した情報発信費用 等 ○町民皆1スポーツ推進事業 7,500千円 ・キックオフイベントの開催費 ・総合型地域総合型スポーツクラブ等との連携事業の構築事業 ○スポーツツーリズムの高質化事業 2,500千円 ・地域資源を活用したアスリートフードやウェルネスフードの開発事業						
地域の多様な 主体の参画	設立するスポーツコミッションには、棚倉町、町内のスポーツ関連団体のスポーツ協会や総合型スポーツクラブ等、拠点となる「ルネサンス棚倉」の指定管理者が構成員として参画し、事業の計画や検証をするともに、町と相互協力協定を締結している福島大学がアドバイザーとして参画し、助言を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町内における観光消費額（+90,646千円） ②スポーツツーリズムでの宿泊者数（+2,940人） ③スポーツイベント等参加者数（+6,000人） ④新たに構築したスポーツツーリズム数（+9件）

旧制度（推進）

旧制度（推進）

申請者	福島県塙町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	131,600千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「魅力ある塙町特産品を塙町に食べに来る」という、情報発信のための特定のコンテンツをベースとした「町内外に向けた多量の情報発信」を行うことにより、塙町の魅力が町外に伝わり、交流人口の獲得の効果が期待でき、さらに特産品の地産地消イベントを開催することで宿泊者数が増え、観光活性化に寄与する。 ・観光産業の発展により新たな雇用機会が生まれ、関係人口が増加し、最終的に労働人口の増加と移住・定住人口の増加に貢献する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○イベント開催広報事業 ・塙町特産グルメ試食イベント（お花見バージョン・端午の節句バージョン・ダリア祭りバージョン・紅葉バージョン等） ・塙町特産モクテル試飲イベント（お花見バージョン・端午の節句バージョン・ダリア祭りバージョン・紅葉バージョン等） ※近隣市町村新聞折込、ポスター作成貼付け、食材・装飾品等 ○デジタルマーケティングSNS情報発信事業 ○プレスリリース高頻度発信事業・ メディアリレーションズ対応事業 ○FAMトリップツアー実施事業 ○地元企業のデジタル人材育成支援事業 ○メディア招待会開催事業 ○観光関係者に対する現況教育研修事業 ○事業管理事務局運営事業 19,000千円 7,800千円 8,000千円 2,000千円 1,000千円 1,400千円 6,000千円 4,800千円  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+159,141千円） ②メディア露出数（+36回） ③宿泊者数（+1,575人） ④観光協会サイトアクセス数（+12,150PV）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html （効果検証） https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html

事業概要【里山が心を紡ぐ、人と人を睦むプロモートプロジェクト事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県鮫川村	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	40,015千円（13,320千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・中心地域活性のため、住民による村づくりを考え、自分達で考えるコンパクトヴィレッジ構想の実現を図る ・関係人口創出事業の実施による異業種間連携を促し新たな交流人口の創出を図る ・関係人口創出アプリの活用による交流機会の情報発信強化とデータ収集・分析・活用モデルの構築を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	村中心地域活性化事業と交流人口の創出事業 ・懇談会経費 3,420千円 ・アドバイザー業務委託料 210千円 関係人口創出事業 ・関係人口創出コーディネーター料 4,800千円 ・美活動刈上げ鮫（ジョーズ）事業運営 2,400千円 ・関係人口創出アプリ保守業務 2,490千円 合計 13,320千円 「里山だからこそできる新たな価値の創出と 交流人口の増加による住民の幸福度向上」		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住民ワークショップへの参加者数（+50人） ②関係人口の創出イベント （美活動刈上げ鮫（ジョーズ））参加者数（+70人） ③関係人口創出アプリ登録者数（+500人）		
	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/page/page002838.html https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/page/page001208.html （評価検証）調整中	

事業概要【道の駅いしかわ（仮称）整備事業】

申請者	福島県石川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,275,626千円 (1,275,626千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	・本町の強みである産業や温泉、桜などを活かし、町内外の交流を促進することで地域の活力を向上させ、持続可能なまちづくりを進めるための拠点として道の駅を整備する。 ・産業振興の場、交流の場、魅力情報発信の場、ゲートウェイとしての場として機能させる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業経費】 ○約20,000㎡の敷地内に、物販施設、飲食施設、情報発信施設、芝生広場、ドッグラン、駐車場、トイレなどの機能を有した「道の駅」を整備する ・施設整備経費 835,547千円 ・設備整備及び用地造成 347,503千円 ・備品整備費 35,000千円 【ソフト事業経費】 ○総合案内・情報発信人材育成及び周遊型観光プラン作成事業 ・委託料 5,500千円 【インフラ整備事業経費】 ○「道の駅」へのアクセスを向上させるための道路拡幅事業 ・工事請負費 52,076千円						
地域の多様な 主体の参画	温泉地の観光事業者、肉牛農家、果物農家、飲食店、観光バス事業者、菓子屋、商工会など多様な主体の意見を、一般社団法人地域商社 SAKURAIIZEの理事会において集約し、今後の運営に反映させる。 町内の高校と連携し職業見学やフードロス教室を開催するほか、高校生や自治会から利用者目線で意見をもらい、事業内容の反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+2億7,562万5千円） ②石川町の観光入込客数（+25万人） ③「道の駅」の利用者満足度（+4ポイント） ④「道の駅」の利用者数（+24万人） ⑤「道の駅」の滞在時間（+60分）

事業概要【豊かな自然の中で実現する自分だけの「たまかわくらし」推進事業】

申請者	福島県玉川村					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,913千円（13,793千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	人口減少及び高齢化の加速化による地域の担い手の流出と地域産業の衰退に歯止めをかけるため、移住相談窓口の一本化や官民が連携した移住者等サポート体制の構築、受入意識の醸成により、「暮らし」、「仕事」、「コミュニティ」等の各方面での事業を展開し、移住定住を促進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・ライフステージ・ライフスタイルに合わせた移住者サポート事業 (委託費等) 3,511千円 ・玉川村の多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり支援事業 (委託費等) 7,202千円 ・だれもが住み続けられる持続可能なまちづくり事業 (委託費等) 3,080千円						
地域の多様な 主体の参画	連携協定を締結する玉川大学等から、大学が有する専門的知見を活かした村の取組への助言やサポートをもらうとともに、学生が来村すること等により若者目線での地域との関わりシロを創出することで関係人口の創出・拡大等に寄与する。 さらに、村商工会、観光物産協会等と連携を図り、地域事業者の事業参加により効果を高める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+25世帯） ②移住相談者数（+100組） ③移住定住サポーター養成数（+11人） ④地域事業者との連携数（+50件）